

平成28年度事業報告

法人本部・管理部

1 理事会・評議員会開催状況

平成28年5月開催の理事会、評議員会は前年度(平成27年度)事業報告、決算報告および評議員の改選が承認された。11月開催の理事会、評議員会は平成28年度上半期事業報告、補正予算、定款変更の承認が行われた。その他に入所施設の防犯設備工事関連や社会福祉法人制度改革に伴う評議員候補者の選任に関して臨時理事会を開催した。平成29年3月開催の理事会、評議員会は次年度(平成29年度)事業計画および予算が承認された。

[理事会]	第95回理事会(平成28年度第1回)	平成28年5月26日開催
	第96回理事会(平成28年度第2回)	平成28年11月24日開催
	第97回理事会(平成28年度第3回)	平成29年1月26日開催
	第98回理事会(平成28年度第4回)	平成29年2月23日開催
	第99回理事会(平成28年度第5回)	平成29年3月23日開催
[評議員会]	第58回評議員会(平成28年度第1回)	平成28年5月26日開催
	第59回評議員会(平成28年度第2回)	平成28年11月24日開催
	第60回評議員会(平成28年度第3回)	平成28年3月23日開催

2 運営概況

(1) 法人経営

理事長、役員級職員による経営会議において新規事業、人事等の重要事項について方針決定を行った。事業執行は各事業部、各事業所の管理職によって構成する運営会議を定期的に開催し迅速かつ円滑な事業運営を行った。

(2) 人事労務等

定期昇給を実施し、一時金は前年度実績を支給した。人材育成の一環として人事異動のガイドラインを策定した。職員のメンタルヘルス対応としてストレスチェックテストを行った。人材確保のため様々な募集方法を試みたが成果は芳しくなかった。

(3) 社会福祉法改正関係

社会福祉法人制度改革に対応するため定款を変更した。評議員選任・解任委員会を設置し、新年度(平成29年度)からの評議員を選任した。地域への公益サービスの取り組みとして余裕財産(内部留保)から控除対象財産を除いた「社会福祉充実残額」を算出したが、地域公益事業に投下する財産は生じなかった。会計監査人の設置については当法人は平成33年度まで猶予があるが、事前準備のため会計法人との接触を始めた。

(4) 予決算および会計

平成28年度3月補正では約9,970万円の黒字を見込んでいたが、非常勤職員の人件費や備品購入費を過大に見積もっていたためさらに収支が改善し、平成28年度の資金収支ベースでは約13,200万円の収入超となった。これを受け、財務体質を強化するため新たに8,000万円を積み立て、資金収支では約5,200万円の黒字決算となった。

3 事業概況

(1) 事業関係

新規事業として発達障害者地域支援業務、強度行動障害支援力向上研修事業を横浜市から受託した(平成28年10月)。新規グループホームの開設(市内北部方面1か所)と「ハウスF」移転を平成29年3月に行った。懸案であった南部方面の通所事業所は物件確保の目途がついた。

(2) 苦情解決事業関係

苦情解決事業の苦情はなかった。事故防止、利用者支援の向上、福祉サービスを充実させるため苦情解決事業第3者委員に対して前年度(平成27年度)に発生した全事業所の苦情、事故事件、ヒヤリハット等の報告会を平成28年12月に開催した。

4 その他

「津久井やまゆり園」の事件を受けて各事業所で防犯設備工事および防犯機器の設置などを行い、防犯システムを強化した。同事件に刺激され、就労移行支援事業所「ワークアシスト」への脅迫メールがあり、行政および警察と対応した。

障害福祉事業部

施設支援1課

「東やまた工房」

1 事業概況

生活介護(定員38名)、短期入所(定員1名)、日中一時支援(定員1名)の障害福祉サービスを提供した。体制は課長以下、係長と2つの作業室に常勤職員(7名)を配置した。新規利用者1名を受け入れた。新規グループホーム開所に伴い入居者1名を平成29年4月から受け入れ予定である。

2 事業実績

(1) 生活介護事業(定員38名・現員39名)

①利用者概況(平成29年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	0	7	8	15
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	2	5	8	15
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	0	1	2	3
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	3	13	18	34
	女	0	0	0	0	0	2	3	5

(イ)年齢別状況

年齢	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男性	1	5	6	19	3	34	40歳
女性	0	0	1	4	0	5	42歳 7か月
計	1	5	7	23	3	39	40歳 4か月

(ロ)利用期間状況

期間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～	15年～	計	平均期間
男性	1	1	1	10	10	11	34	13年 9か月
女性	0	1	0	2	0	2	5	12年 3か月
計	1	2	1	12	10	13	39	13年 7か月

(e)長期入院等状況

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

(f)通所方法状況

自 力	6
保護者迎	7
送迎バス	4
そ の 他	22
計	39

(g)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	20	19	22	20	18	20	23	22	23	23	20	23
平均日数	19	17	21	18	16	18	19	19	17	16	18	20

(h)入退所状況

入所者	入所日	居住区	備 考
18歳(男性)	H28.4.1	都筑区	高津養護学校卒

退所者なし

(2)短期入所事業(定数:1名)

①利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	22	26	23	19	22	22	22	23	21	22	21	268

②障害支援区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	1	4	10	15
女性	0	0	0	0	1	0	0

③年齢別状況(実数)

年齢	～19	20～29	30～39	40～	合計
男性	0	7	3	5	15
女性	0	0	0	0	0

(3)日中一時支援事業(定数:1名) のべ0日・実数0人

(4)支援状況

①日中支援

個別支援計画に基づき日中活動の提供や生活・余暇支援を行った。企業(6社)からの受注作業を中心とした生産活動、清掃や洗濯などの家事活動を提供した。スポーツセンターでの清掃活動も開始した。

②余暇支援

個別余暇支援や宿泊旅行を3回実施した。平日夕方のレクリエーションとしてボウリング、カラオケ等(5回)を実施した。

③生活支援

家庭との連絡や訪問による生活状況を把握し、生活上の助言、通所支援、グループホームとの連携、通院同行、医師の助言による健康管理を行った。

④職員研修

外部の福祉サービス事業所の見学・実習を行った。

「まるんワークス(YOU)」

1 事業概況

係長(「リンク(アイテック)兼務」、主任、支援員(正職員、非常勤)の体制で支援を行った。外部からの受注作業を継続した。余暇支援は希望制による小グループによる宿泊旅行を実施した。

2 事業実績

(1) 生活介護事業(定員24名・現員25名)

①利用者概況(平成29年3月31日現在)

(7)障害支援区分状況

障害支援区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A 1	男	0	0	0	0	1	1	2	4
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 A 2	男	0	0	0	0	3	8	3	14
	女	0	0	0	0	1	1	0	2
療育手帳 B 1	男	0	0	0	0	1	0	1	2
	女	0	0	0	0	0	1	0	1
療育手帳 B 2	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	6	9	6	21
	女	0	0	0	0	1	2	1	4

(4)年齢別状況

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	0	6	2	11	2	21	38.8歳
女性	0	0	1	3	0	4	43.4歳
計	0	6	3	14	2	25	39.5歳

(5)利用期間状況

『まろんワークス』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	0	1	5	5	0	11	11年 1か月
女	0	0	0	0	2	0	2	14年11か月
計	0	0	1	5	7	0	13	11年 8か月

『YOU』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	0	0	3	2	5	10	12年 7か月
女	0	0	0	0	1	1	2	15年 5か月
計	0	0	0	3	3	6	12	13年 0か月

(6)長期入院等状況

状 況	人 数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(7)利用方法状況

自 力	14
保護者送迎	6
送迎バス	1
その他	4
計	25

(8)利用日数状況

『まろんワークス』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
要通所日数	20	19	22	20	18	20		
平均通所日数	19.5	18.7	21.8	19.5	17.4	16.2		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	22	21	19	18	20	22	241	20.1
平均通所日数	19.3	19.5	18.4	15.9	19.4	20.5	226.1	17.4

『YOU』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
要通所日数	20	19	22	20	18	20		
平均通所日数	17.7	17.0	19.9	18.3	15.4	18.1		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	22	21	19	18	20	22	241	20.1
平均通所日数	18.3	17.4	16.6	14.7	17.3	17.6	208.3	17.4

(キ)入退所状況 なし

(2)支援状況

①日中活動および作業内容

文房具組立・包装、自動車部品の組立、広告誌のポスティング等の受注作業を行った。都筑区委託「クリーンタウン横浜事業センター北清掃業務」を継続した。

②生活状況

外食等の地域資源を活用する機会を設けた。居宅介護サービスや移動支援サービスの利用調整を行った。他法人のグループホームと支援について検討した。健康診断など健康管理を行った。インフルエンザに罹患したため保健所の助言を得た。

③その他

保護者やグループホーム職員に日中活動の様子を定期的に報告し、個別支援計画を確認した。「まろんワークス」「YOU」「アイテック」と宿泊レクを実施した。特別支援学校の保護者見学を随時受け入れた。

(3)日中一時支援事業(定数：2名) 利用実績：のべ45日 実数2人

「リンク(アイテック)」

1 事業概況

係長(「まろん(YOU)兼務」、主任、支援員(正職員、非常勤)の体制で支援を行った。「アイテック」は利用者に欠員(1名)が生じているため募集を行ったが、充足はできなかった。日中活動は受注作業を継続し、余暇支援は希望制による小グループによる宿泊旅行を実施した。

2 事業実績

(1)生活介護事業(定員20名・現員19名)

①利用者概況(平成29年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害支援区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	1	4	0	5
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B1	男	0	0	0	1	3	2	1	7
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	1	1	1	1	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (身体2級)	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	2	6	9	2	19
	女	0	0	0	0	0	0	0	0

(イ)年齢別状況

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	0	1	5	8	5	19	42.7歳
女性	0	0	0	0	0	0	—
計	0	1	5	8	5	19	42.7歳

(ウ)利用期間状況

『リンク』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	1	9	0	0	0	10	3年8か月
女	0	0	0	0	0	0	0	—
計	0	1	9	0	0	0	10	3年8か月

『アイテック』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	0	9	0	0	0	9	3年11か月
女	0	0	0	0	0	0	0	—
計	0	0	9	0	0	0	9	3年11か月

(エ)長期入院等状況

状 況	人 数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(オ)利用方法状況

自 力	16
保護者送迎	0
送迎バス	0
そ の 他	3
計	19

(カ)利用日数状況

『リンク』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
要通所日数	20	19	22	20	18	20		
平均通所日数	19.7	18.5	21.7	19.5	17.5	19.2		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	20	20	19	18	20	22	238	19.8
平均通所日数	19.5	19.1	18.8	17.8	19.5	21.2	232.0	19.3

『アイテック』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
要通所日数	20	19	22	20	18	21		
平均通所日数	18.0	17.3	19.8	17.8	14.3	18.2		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	21	21	19	18	20	22	241	20.1
平均通所日数	18.3	18.1	17.3	16.1	17.9	19.7	212.8	17.7

(キ)入退所状況 なし

(2)支援状況

①日中活動および作業内容

文房具類組立・包装、プラスチック製品やバイク製品のシール貼り・包装、紙器製作、建築資材の組立、自動車部品組立、ケーブルテレビレンタル機器クリーニング作業を行った。ワークパートナー「オリーブ」から老人ホーム内の清掃業務を請け負った。

②生活状況

移動支援サービス利用者にはガイドヘルパーとの情報交換を行った。健康診断など健康状態の把握に努め、必要に応じて通院同行を行った。宿泊レクを実施した。

③その他

特別支援学校生徒の実習を行った(2名)。保護者、教諭、ケースワーカーの見学を随時受け入れた。

(3)日中一時支援事業(定数：2名) 利用実績：のべ1日 実数1人

「ワークアシスト」

1 事業概況

管理者、サービス管理責任者、就労支援員、職業指導員、生活指導員、グループ就労訓練担当者を配置した。職業基礎訓練としてパソコン操作訓練や名刺作成の編集印刷等の模擬作業、社会生活技能の訓練としてグループセッションを実施した。企業内訓練(施設外)を協力事業所「パルシステム神奈川ゆめコープ横浜北センター」で8名が実施した。見学を適宜受け入れ、体験実習の希望者に対して月4回程度(3日間)行った。

2 事業実績

(1)就労移行支援事業(定員20名・現員17名)

①利用者状況(平成29年3月31日現在)

(ア)障害支援 ※うち1名はB2手帳も重複所持

障害支援	B1	B2	精1	精2	精3	計
男性	1	6	0	3	3	13
女性	0	1	0	2	1	4
合計	1	7	0	5	4	17

(イ)年齢

年齢	～19	20～	30～	40～	合計
男性	5	7	1	0	13
女性	0	4	0	0	4
合計	5	11	1	0	17

(ウ)新規利用者 16名(年齢は利用開始時点)

	入所者	居住区	入所日	障害の種類
1	18歳(男性)	青葉	H28. 4. 4	自閉症
2	20歳(男性)	泉	H28. 4. 4	自閉症
3	18歳(男性)	青葉	H28. 4. 4	自閉症
4	18歳(男性)	保土ヶ谷	H28. 4. 4	自閉症
5	26歳(男性)	青葉	H28. 7. 4	アスペルガー症候群
6	23歳(女性)	青葉	H28. 7. 25	アスペルガー症候群
7	20歳(男性)	南足柄市	H28. 8. 29	高機能自閉症
8	19歳(男性)	神奈川	H28. 9. 26	高機能自閉症
9	26歳(男性)	泉	H28. 10. 3	発達障害
10	18歳(男性)	泉	H28. 11. 7	アスペルガー症候群
11	25歳(女性)	港北	H28. 12. 20	発達障害
12	19歳(女性)	港北	H28. 12. 20	不明
13	26歳(男性)	鶴見	H29. 1. 5	自閉症
14	22歳(男性)	鎌倉市	H29. 1. 12	発達障害
15	23歳(男性)	緑	H29. 2. 13	発達障害
16	19歳(男性)	青葉	H29. 3. 21	自閉症

(エ)退所状況 5名(退所時年齢)

	退所者	居住区	退所日	理由
1	26歳(男性)	都筑	H28. 4. 28	利用期間終了(CWへ引き継ぎ)
2	34歳(男性)	港南	H28. 7. 22	企業就労
3	41歳(女性)	港南	H28. 11. 25	企業就労
4	22歳(男性)	都筑	H28. 12. 28	企業(社福)就労
5	26歳(男性)	鶴見	H29. 2. 22	企業就労

3 企業内訓練実績(訓練生状況)

	性別	障害の種類	訓練期間	現況
1	男性	発達障害・精神2	H27. 4. 7～H28. 7. 22	企業就労
2	女性	ADHD・精神3	H27. 11. 13～H28. 11. 7	企業就労
3	男性	自閉症・療育B2	H27. 6. 1～H28. 12. 27	企業(社福)就労
4	男性	発達障害・精神3	H29. 2. 2～	訓練継続中
5	男性	自閉症・療育B2	H28. 6. 13～	訓練継続中
6	男性	自閉症・精神2	H28. 7. 8～	訓練継続中
7	男性	自閉症・療育B1	H28. 8. 4～	訓練継続中
8	男性	高機能自閉症・療育B2	H29. 1. 23～	訓練継続中

4 見学・体験実習参加者

	対象	内容	人数
1	既卒者	施設見学	33名
2	学生	施設見学	17名
3	家族・関係者	施設見学	85名
4	既卒者	訓練体験参加	14名(各3日間)
5	学生	訓練体験参加	14名(各3日間)

施設支援2課

「東やまたレジデンス」

1 事業概況

生活介護(定員50名)、施設入所支援(定員40名)、短期入所(定員4名)、日中一時支援(定員2名)の障害福祉サービスを提供した。次長以下3係体制とし、日中支援員と居住支援員に役割を分担した。安全管理委員会を開催し、事故予防、衛生管理、健康管理等の改善を行った。職員育成のための研修やケース検討会を実施した。社会福祉士受験資格取得等の学生実習、養護学校の生徒実習、他施設・機関からの実習、見学が増加した。

2 事業実績

(1)生活介護事業(定員50名・現員55名)

①利用者概況(平成29年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳A1	男	0	0	0	0	0	2	38	40
	女	0	0	0	0	0	0	5	5
療育手帳A2	男	0	0	0	0	1	1	4	6
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳B1	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳B2	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	1	0	1	2
合計	男	0	0	0	0	1	3	43	47
	女	0	0	0	0	1	0	7	8

(イ)年齢別状況

年 齢	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平 均
男性	0	2	6	36	3	47	42.2歳
女性	0	1	2	3	2	8	42.6歳
計	0	3	8	39	5	55	42.3歳

(ロ)利用期間状況

期 間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～	15年～	計	平均期間
男性	0	1	2	4	5	35	47	17年 6か月
女性	0	1	0	4	0	3	8	11年11か月
計	0	2	2	8	5	38	55	16年 8か月

(エ)長期入院等状況

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

(オ)通所方法状況

自 力	0
保護者迎	10
送迎バス	4
そ の 他	41
計	55

(カ)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
平均日数	21	19	22	21	19	21	21	21	20	19	20	22

(キ)入退所状況 入退所なし

②支援状況

各作業エリアが安定して運営できるよう係ごとに日中担当職員を配置した。自動車部品梱包作業、空缶リサイクル作業の継続、近隣のスポーツ会館での清掃活動に参加した。作業エリアの環境を定期的に見直し、人工芝のスペースを設け、運動のバリエーションを増やした。余暇活動の開発、宿泊旅行を引き続き実施した。

(2)施設入所支援(定員40名・現員38名)

①利用者概況(平成29年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害程度区分	非該当	1	2	3	4	5	6	合 計
療育手帳A1	男	0	0	0	0	1	23	24
	女	0	0	0	0	0	5	5
療育手帳A2	男	0	0	0	0	1	2	3
	女	0	0	0	0	0	2	3
療育手帳B1	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳B2	男	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	1	1	2
合 計	男	0	0	0	0	1	26	28
	女	0	0	0	0	1	8	10

(イ)年齢別状況

年 齢	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平 均
男性	0	1	4	21	2	28	42.5歳
女性	0	0	3	5	2	10	43.9歳
計	0	1	7	26	4	38	42.9歳

(f)利用期間状況

期 間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～	15年～	計	平均期間
男性	0	3	1	0	0	24	28	17年 7か月
女性	0	2	1	1	0	6	10	13年 9か月
計	0	5	2	1	0	30	38	16年 7か月

(g)長期入院等状況

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

(h)入退所状況

退所者	退所日	居住区	備 考
41歳(男性)	H29. 3. 26	戸塚	GH「ハウスP」入居
45歳(男性)	H29. 3. 26	保土ヶ谷	GH「ハウスP」入居

入所者：なし

②短期入所事業(定数：4名)

(ア)利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
98	110	119	100	107	132	117	125	117	109	119	108	1,361

(イ)障害程度区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	1	3	16	22	42
女	0	0	0	0	4	2	6

(ウ)年齢別状況(実数)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	合計
男	0	20	14	8	42
女	0	2	1	3	6

③日中一時支援事業(定数：2名) 延41.8日・実数48人

④支援状況

ユニット内の環境改善の一環として浴室の改装を行った。医療機関と連携して訪問診療を依頼した。余暇活動は宿泊旅行や日帰りレク、外食などを積極的に行った。居室の再編成、ユニット機能の整理(地域移行ユニット、同性ユニットなど)、平成29年度から短期入所枠の拡大等に向けて具体的な準備をした。利用者2名が地域移行したため新規入所者の受入れ準備を行った。

施設支援3課

「ポルト能見台」

1 事業概況

生活介護(定員50名)、短期入所(定員1名)、日中一時支援(定員2名)の障害福祉サービスを提供した。生活介護の利用者は合計59名であった。施設長(管理者・サービス管理責任者兼務)、係長(2名)、主任、支援員(10名)、看護師(非常勤)、栄養士、事務(非常勤2名)配置し、支援は2エリア(1エリア2グループ)に分け、各グループに支援員(正職と非常勤)を配置して支援にあたった。

2 事業実績

(1) 生活介護事業(定員50名・現員59名)

①利用者概況(平成29年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害支援区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	2	4	13	19
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	5	11	14	30
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	2	1	1	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	1	2	0	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	10	18	28	56
	女	0	0	0	0	0	1	2	3

(イ)年齢状況

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	2	16	18	19	1	56	33歳6か月
女性	0	1	1	1	0	3	35歳3か月
計	2	17	19	20	1	59	33歳7か月

(ウ)利用期間状況

年	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均利用期間
男	1	2	3	7	43	0	56	10年2か月
女	0	0	0	1	2	0	3	11年5か月
計	1	2	3	8	45	0	59	10年8か月

(エ)長期入院等状況

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	1
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(オ)利用方法状況

自力	16
保護者送迎	18
送迎バス	5
その他	20
計	59

(カ)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
要通所日数	20	19	22	22	18	21		
平均通所日数	18.8	17.7	20.5	18.9	16.3	18.5		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	22	21	19	18	20	22	242	20.2
平均通所日数	19.4	18.5	17.5	16.7	18.9	20.6	222.4	18.5

(キ)入退所

入所者	入所日	居住区	備 考
男性(18歳)	4月1日	港南	養護学校(市立)高等部新卒

退所者なし

(2)短期入所事業(定数:1名)

①利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8	16	16	16	17	13	23	20	25	16	22	21	213日

②障害支援区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	3	5	16	24
女性	0	0	0	0	0	1	1

③年齢状況(実数)

年齢	～19	20～29	30～39	40～	計
男性	2	13	8	1	24
女性	0	1	0	0	1

(3) 日中一時支援事業 (定数：2名) 利用者数9人 利用実績18.3日

3 支援および運営状況

(1) 支援方針および内容

個別支援計画を策定し支援内容の確認と見直しを行った。地域資源、医療機関との協力・連携に務めた。

(2) 日中支援

利用者の個性や特性に応じた作業環境や日課を提供し、受注作業を中心に自立的に活動が遂行できるよう支援した。受注作業は組立、梱包作業等のほかに、近隣の流通関係企業に出向き職業的活動、金沢区土木事務所の公園清掃業務を継続した。

(3) 余暇支援

カラオケ(年3回)、プール(年6回)、宿泊旅行(年5回)を提供した。

(4) 短期入所・日中一時支援サービス

サービス提供日以外の希望に対しては入所事業所の利用を勧奨した。短期入所の利用実績は昨年度末に2か所のグループホームが開所したため減少したが、定期利用やこれまで利用しなかった利用者が増加した。

(5) 地域生活支援

「ハウスヒルサイド」「ハウスJOY」「ハウスノア」「ハウスオーク」の車輛送迎を行った。通所途上の付き添いや定期的な状況把握を行った。家庭生活や通所に困難がある利用者に入所事業所の短期サービス、移動支援サービスの利用調整を行った。

(6) 運営関係(教育・学生実習・啓発活動等)

現任訓練、嘱託医や臨床心理士による専門研修、新任研修、外部派遣研修を行った。現場実習として特別支援学校高等部生徒(3名)、大学生(2名)を受け入れた。特別支援学校教員、保護者、他事業所職員、当事者団体、地域関係者の見学を受入れた。

共同生活援助事業(南部方面グループホーム)

1 事業概況

管理者、サービス管理責任者(係長兼務)、複数のグループホームを兼任する支援員、各グループホームの専任支援員(正職員及び非常勤)を配置し、4グループホームが連携できる体制を構築した。日中活動は全員が「ポルト能見台」を利用した。

2 事業実績

(1) 利用者概況(平成29年3月31日現在)

〈ハウスヒルサイド〉定員5名

①障害支援区分状況

	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	1	2	2	5
女	0	0	0	0	0	0	0

②年齢状況

	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	合計
男	0	0	4	1	5
女	0	0	0	0	0

〈ハウスJOY〉定員5名

①障害支援区分状況

	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	0	3	2	5
女	0	0	0	0	0	0	0

②年齢状況

	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	合計
男	0	1	4	0	5
女	0	0	0	0	0

〈ハウスノア〉定員5名

①障害支援区分状況

	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	1	2	2	5
女	0	0	0	0	0	0	0

②年齢状況

	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	合計
男	1	1	3	0	5
女	0	0	0	0	0

〈ハウスオーク〉定員5名

①障害支援区分状況

	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	2	2	1	5
女	0	0	0	0	0	0	0

②年齢状況

	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	合計
男	1	0	4	0	5
女	0	0	0	0	0

3 支援および運営状況

地域のレストランでの夕食、日用品の買物など活動の幅を広げた。日中活動を利用するため公共交通機関の利用支援を行った。週末の一時的な利用や週半ばの祭日利用にも対応した。「ポルト能見台」と宿泊レクを実施した。週末の利用が少しずつ増えた。

地域支援課

「共同生活援助事業(北部方面グループホーム)」

1 事業概況

平成29年3月に「ハウスF」「ハウスP」を開所した。「ハウスF」は転居のため引っ越しの片づけ等に配慮した。「ハウスP」は入所および通所施設利用者の入居に備え、職員、家族、関係機関と引継ぎを行った。係長、主任3名体制で担当するホームの見直しと業務調整を行った。ホーム全体での余暇活動を計画し、グループ単位の活動を提供した。

2 事業実績

(1)利用者概況(平成29年3月31日現在)

事業所名	定数	障害支援区分						性別		年 齢			
		1	2	3	4	5	6	男	女	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
ハウスBEE	5	0	0	0	0	3	2	5	0	0	0	4	1
ハウスSEA	4	0	0	0	1	3	0	4	0	0	0	3	1
ハウスDOUX	5	0	0	0	0	0	5	5	0	0	1	2	2
ハウスEEL	5	0	0	0	3	1	1	4	1	0	0	3	2
ハウスF	4	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	4	0
ハウスG	6	0	0	0	1	1	4	6	0	0	0	4	2
ハウスi	5	0	0	0	0	4	1	5	0	0	2	3	0
ハウスK	5	1	3	1	0	0	0	5	0	2	1	1	1
ハウスLm	5	0	0	0	0	3	2	5	0	0	0	5	0
ハウスMuu	5	0	0	0	0	3	2	5	0	1	2	2	0
ハウスP	5	0	0	0	0	2	3	5	0	1	1	3	0
合 計	54	1	3	1	7	20	20	53	1	4	7	34	9

(2) 支援状況

①ハウスB E E

週末利用の増加に伴い職員配置を調整した。居宅介護サービス利用増加によりホームヘルパーの充足に努めた。浴室のリフォームを行った。

②ハウスS E A

週末利用の増加により職員配置を調整し、休日の過ごし方や外出先での安全面の配慮を検討した。通所先や家族、関係機関と通院や余暇活動の調整を行った。

③ハウスD O U X

後見人、家族と連絡して通院同行など安定した生活を図った。宿泊旅行を実施した。

④ハウスE E L

家庭環境の変化に伴い週末利用の調整を行った。職員の休職に伴い、職員配置と勤務調整を行った。ホーム内での余暇活動として季節行事に応じた食事を提供した。

⑤ハウスF

スプリンクラー設置のため3月に新規ホームへ移転した。混乱なく転居できるよう私物の整理や生活動線の配慮を行った。

⑥ハウスG

居宅介護サービスの利用を継続しホームヘルパーの調整を行った。週末利用の増加のため職員配置を調整した。トイレをリフォームした。宿泊旅行を行った。

⑦ハウス i

家庭環境の変化に伴い後見人を含めた家族や関係機関との連携をはかった。週末利用の増加により職員配置や送迎の調整を行った。

⑧ハウスK

通院同行を行い健康維持に努めた。通所の継続が難しい利用者に対して、関係機関と支援の方向性を確認した。

⑨ハウスL m

職員異動により引継ぎや支援の再整備を行なった。定期的に週末余暇活動を行った。

⑩ハウスM u u

家族との連絡を密にし安定した生活の維持に努めた。下半期に職員配置を調整し、引継ぎや支援体制の整備に努めた。

⑪ハウスP

週末利用型ホームとして3月開所に向け準備を行い、「東やまたレジデンス」から2名が入居した。「東やまたレジデンス」の職員と連携し円滑な受け入れに努めた。

「ヘルパーセンターやまびこ」

1 事業概況

介護給付事業として行動援護、居宅介護、重度訪問介護を、地域生活支援事業として移動支援を実施した。行動援護へのニーズが強いことから移動支援は行動援護へ適宜切り替えた。ヘルパー確保に向けて行動援護研修を2回、移動支援(ガイドヘルパー)研修を1回に実施した。スキルアップおよび専門性を高めるためヘルパー勉強会を実施した(月1回)。居宅介護はグループホームへの派遣を中心に実施した。重度訪問介護は3名の利用者(当法人1名、他法人2名)への支援を実施し、新規利用に向けたアセスメントを実施した。

2 事業実績

(1) 派遣件数、事業収入等

	移動支援	行動援護	居宅介護	重度訪問介護
登録ヘルパー	58名	36名	9名	6名
稼働件数	1,380件	1,873件		
稼働時間	4,589時間	5,212.5時間	3,955時間	898時間
給付費収入	10,919,650	34,743,037	25,727,940円	1,948,803円
(小計)	45,700,687円(キャンセル含む)			
合計	73,377,430円			

(2) サービス状況

移動支援事業から行動援護事業への切り替えをはかった。ガイドヘルパーの慢性的な不足から全体の稼働件数は減少したが、行動援護ヘルパーは前年比で7名、移動支援ヘルパーは前年比4名それぞれ増えた。しかし、ヘルパーの高齢化により行動援護の利用ニーズに対応できない状態にある。居宅介護は安定的した稼働状況であった。グループホームへの居宅介護サービスの制度見直しが行われており、今後の成り行きを注視している。

(3) 研修事業

① 行動援護従業者養成研修

第1回：2016年6月21～23日 受講生30名

第2回：2016年9月27～29日 受講生18名

② ガイドヘルパー養成研修

第1回：2016年8月30日～9月23日 受講生15名

③ 強度行動障害支援者養成研修

神奈川県受託事業として強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)を2回実施した

第1回：平成28年7月22日～23日 横浜市技能文化会館 受講者117名

第2回：平成28年10月22日～23日 横浜市技能文化会館 受講者117名

④ 強度行動障害支援力向上研修

横浜市受託事業として横浜市強度行動障害支援力向上研修を2回実施した。

第1回：平成29年2月27日～28日 横浜市技能文化会館 受講者120名

第2回：平成29年3月13日～14日 横浜市技能文化会館 受講者115名

「計画相談事業」

1 事業概要

相談支援専門員を3名配置して事業を執行した。計画相談の利用希望は多いが、業務の継続性や手続きに沿った支援プロセスで対応するには制約があり、サービス支給決定更新月に偏りがある。

2 事業実績

- ・新規：59件(更新：44件含む)
- ・モニタリング：94件

3 支援状況

主要業務であるサービス利用支援(計画作成)・継続サービス利用支援(モニタリング)に加え、基本相談として日常的な相談に対応し必要な情報提供や助言を行う必要があるため横浜市主催の研修や自立支援協議会などへ定期的に参加して制度や各事業所などの最

新情報を把握し多職種と情報交換や連携を図る機会を増やした。グループホーム利用者については重度訪問介護事業の導入など地域生活全般にサービス提供が広がるように個別支援会議に区ケースワーカー等の参加を含め定期的な情報交換や制度利用上の進行状況確認を行った。グループホームの利用開始等の新たなサービス利用に対しては、障害特性上の配慮やサービスの必要性について担当ケースワーカーとの調整し、サービス内容や支給量の調整も適宜対応を行った。補助員として勤務していた職員1名が平成28年11月に「相談支援従事者初任者研修(全6日間)」を修了した。

相 談 課

「横浜市発達障害者支援センター」

1 事業概況

発達障害者支援センター事業は、センター長含めて相談員8名(社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士)を配置し、相談支援、就労相談、機関コンサルテーション、機関連携を実施した。発達障害者自立生活アシスタント事業は、職員2名を配置した。下半期から発達障害者地域支援業務を受託し、発達障害者地域支援マネージャー2名を配置して機関コンサルテーションを実施した。

2 事業実績

(1) 相談支援

- ①相談件数 実支援人数604名(前年度632名) のべ件数4,853件(前年度5,212件)
 新規219名(前年度194名) 男性147名・女性：72名 市内218名・市外1名
 継続385名(前年度438名)

②支援内容(実数は重複あり)

	支援内容	実人数(重複有)	のべ件数
相談支援	相 談	395人	2,724件
	調整会議	53人	106件
	機関コンサル	3人	4件
就労支援	相 談	195人	2,010件
	調整会議	3人	4件
	企業に対する啓発	0人	0件

③年齢内訳(実数)

16～18歳	10人
19～39歳	505人
40歳以上	89人
不 明	0人
合 計	604人

④特定相談 17区(月1回から;区によって開催頻度は異なる)

一次相談機関における発達障害者の特定相談を行った。各区2名の相談員が担当し、月1回を原則としながら、おもに区役所高齢・障害支援課を窓口とした初回相談、医療ソーシャルワーカーと基幹相談支援センターや生活支援センター相談員らとの発達障害者相談における配慮点、地域資源等の情報交換および話し合いを行った。開催頻度や内容は区によって特徴があり本来の目的にそった開催ができていない区もあった。

(2) 広報啓発・機関連携

①研修事業

- ・センター主催(12回・943名)、講師派遣(49回・2226名)、地域住民向け講演会の開催(0回) 企業等に対する啓発(11回・20名)
- ・発達障害者相談基礎研修(1回2日・7/5、7/12) 応用研修(1回2日・10/12、10/19)

②広報事業 法人機関紙『マンスリーやまた』編集発行(6月・9月・12月・3月)。

③機関連携 会議出席 106回

(3) 発達障害者自立生活アシスタント事業

登録者:9名(男性5名、女性4名)

未登録相談ケース:7名(男性4名、女性3名)

登録者生活状況:単身9名、障害者のみ家庭0名、家族同居(単身準備)0名

①支援方法

	登録	未登録
面接(来所)	55件	17件
電話・メール・FAX	971件	79件
訪問	29件	15件
外出付き添い	9件	57件
合計	1064件	168件

②支援内容(重複あり)

	登録	未登録
心理・情緒	636件	81件
医療・健康	307件	39件
消費生活	231件	30件
就労	61件	3件
衣食住	577件	35件
対人関係の調整	612件	78件
制度	62件	25件
関係機関との連携	135件	50件
調整会議	14件	13件

(4) 発達障害者地域支援業務(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

①訪問実績等(利用申請事業所:21か所 訪問:のべ45件)

事業所種別	申請受付(箇所)	訪問件数(のべ)
グループホーム(知的)	5	14
生活介護	3	9
地域活動支援センター	6	6
就労支援継続B型	1	4
児童入所施設	2	7
入所支援(成人)	1	4
通勤寮	1	1
相談支援事業所	2	0

②支援内容

知的障害を伴う自閉症者が利用する障害福祉サービス事業所の職員からの依頼に応じて訪問し、活動内容や支援手法、及び環境面に対するアドバイスをを行った。また、事業所職員向けの「自閉症研修」を随時行った。

横浜市学齢後期発達相談室「くらす」

1 事業概況

室長を含めて職員5名(社会福祉士、臨床心理士)を配置し、発達障害のある(疑いを含む)中高生の相談支援および移行期支援として小学6年生の中学校入学にあたっての相談を行った。関係機関の訪問、連絡会議等への出席、見学受け入れ、高校説明会への参加等を行い、情報収集やネットワーク構築に努めた。

2 事業実績(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 相談支援

新規102件(男76、女26) 継続124件(男90、女36)

終結23件(年齢超過に伴う他機関への引継ぎ終了、市外転居)

①年齢構成(実人数)

小学生	中1	中2	中3	高1	高2	高3	19歳以上	合計
6	28	47	38	41	31	25	10	226

②相談方法(のべ件数)

相談方法	件数
来所	1,187
訪問	56
電話(インテーク相談以降)	873
その他(FAX、メール等)	31
合計	2,147

③相談対象者(のべ件数)

対象者	件数
本人	506
家族	1,137
教職員	290
関係機関職員	284
その他	

④相談内容(おもな相談内容を3項目までカウント)

相談内容	件数
家庭での対応	1,121
学校・通所先での対応	985
不応適行動への対応	154
対人関係	214
感情コントロール	503
不登校・ひきこもり	281
進路	686
退院後の生活	3
放課後・余暇の過ごし方	33
他制度資源利用	281
医療機関利用	315
その他	12
合計	4,588

(2)グループ活動等

中学生対象グループ活動：1回 中高生対象グループ活動：6回
 高校生対象グループ活動：3回 保護者勉強会：2回

3 機関連携

ケース会議：29回 自立支援協議会・連絡会議等への参加：38件
 外部講師依頼：22件 事業説明訪問・見学対応：11機関

「横浜日吉就労支援センター」

1 事業概況

センター長、就労相談員5名を配置したが、相談員が退職したため平成28年10月から5名体制とした。就労を希望する障害者やその家族、関係者に対し就職までの流れや就職後に必要な支援を見極め、支援の方向性や支援計画を提案した。雇入れを希望する企業には雇用管理に関する相談や雇入れ支援を行った。就労に直結しない相談者には必要なサービスに確実につながるよう関係機関と連携支援をした。登録者に対して職業評価、職場体験実習を実施した。ハローワークや職業センターと連携して職場開拓にあたり、きめ細やかなジョブマッチングに努めた。定着支援は新規・雇用後のタイミングに関わらず職場のアセスメントを実施し、課題等について本人・企業・支援者の三者で共有して安定化を図った。職業評価は職業興味関心検査、一般職業適性検査、ワークサンプル等を実施して職業イメージや労働に対する価値観、作業能力、社会的スキルの状況を把握した。

雇用率未達成企業への支援依頼に応じ、多くの企業情報に当たり、労働局やハローワークと連携して個々に応じた職場開拓や業種別の職場を開拓した。自立支援協議会、就労支援センター連絡会議、特別支援学校就労支援連絡会議等に参加し、教育、相談支援機関、就労系サービス事業所とのネットワーク構築に努めた。

2 事業実績

(1) 相談支援件数

① 当事者支援・内容別 1,038件(未登録315)

就労に向けた支援246件(169)、職場定着に向けた支援410件(68)、日常生活・社会生活に関する相談65件(12)、就業と生活の両方にわたる相談支援317件(66)

② 実習先・手段別 933件(未登録264)

来所相談105件(51)、電話・FAX・Eメール690件(245)、企業訪問191件(9)
訪問支援(就労移行等)52件(10)

③ 企業・関係者への対応内容

- ・企業 就労に向けた支援38件、職場定着に向けた支援3件、日常生活・社会生活に関する相談0件、就業と生活の両方にわたる相談支援2件
- ・関係者 就労に向けた支援41件、職場定着に向けた支援1件、日常生活・社会生活に関する相談1件、就業と生活の両方にわたる相談支援3件

④ 企業・関係者への手段

- ・企業 来所相談4件、電話・FAX・Eメール33件 直接訪問等6件
- ・関係者 来所相談9件、電話・FAX・Eメール4件 直接訪問等33件

(2) 新規就職者数(1か月以上の雇用契約を締結したもの) 12名 *括弧内は自閉症・発達障害

① 診断別

- ・企業 身体障害0名、知的障害2名 精神障害9名 手帳なし0名
- ・A型 " 0名 " 1名 " 0名 " 0名

② 手帳別

- ・A 1:0 A 2:0 B 1:0 B 2:1 精 1:0 精 2:4 精 3:6

③ 精神障害・状態別

- ・疾病2 発達障害8 高次脳機能障害0 その他0名

(3) 離職者数 7名

① 身体障害0名、知的障害2名 精神障害5名

② 手帳別 A 1:0 A 2:0 B 1:0 B 2:2 精 1:0 精 2:3 精 3:2

③ 精神障害・状態別 疾病1 発達障害4 高次脳機能障害0 その他0名

(4) 登録者数176名

① 支援内容

- ・継続：求職支援51 定着支援106 合計157
- ・新規：求職支援 7 定着支援 12 合計 19

② 手帳別

- ・継続：身体7 知的53 精神95 手帳なし2 合計157
- ・新規：身体0 知的 5 精神14 手帳なし0 合計 19

③ 手帳等級別

- ・継続：身1・2 身2・1 身3・1 身4・1 身5・1 身6・1
- ・新規：身1・0 身2・0 身3・0 身4・0 身5・0 身6・0
- ・継続：A1・1 A2・3 B1・9 B2・40 精1・1 精2・42 精3・52 計155
- ・新規：A1・0 A2・0 B1・1 B2・4 精1・0 精2・8 精3・6 計 19

④ 精神障害・状態別

- ・継続：疾病35 発達障害115 高次脳機能障害1 その他0 合計151
- ・新規：疾病 5 発達障害 12 高次脳機能障害0 その他1 合計18

障害福祉事業部・苦情解決事業 なし

高齢福祉事業部

「東山田地域ケアプラザ」

地域包括支援センターは保健師が産休のため3名体制で運営した。介護予防普及強化事業は1か所が自主サークルに移行した。通所介護事業の1日平均利用者数は21.5名となり目標(19名)を達成した。生活支援体制整備事業は地域包括支援センターおよび区役所・社会福祉協議会と地域情報を把握してアセスメントシートを作成し課を抽出した。

1 通所介護事業・介護予防通所介護事業・横浜市通所介護相当サービス

①利用登録者：56名(平成29年3月31日現在) 男性14名 女性42名

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	3	12	13	10	10	7	1
比率(%)	5.4	21.4	23.2	17.9	17.9	12.4	1.8

②利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	
稼働日数	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	26	307	
通所介護	延べ数	431	459	452	468	484	480	466	433	398	433	397	466	5,367
	平均	16.6	17.7	17.4	18.0	17.9	18.5	17.9	16.7	16.6	18.0	16.5	17.9	17.5
予防通所 相当サービス	延べ数	103	110	111	97	96	95	88	90	104	107	106	119	1,226
	平均	4.0	4.2	4.3	3.7	3.6	3.7	3.4	3.5	4.3	4.5	4.4	4.6	4.0
1日平均	20.5	21.9	21.7	21.7	21.5	22.1	21.3	20.1	20.9	22.5	21.0	22.5	21.5	

③利用終了者：19名

理由	死亡	入院・入所	その他
人数(人)	1	11	7

2 居宅介護支援事業

①契約者数：名(平成29年3月31日現在)

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	14	27	14	33	14	9	2
比率(%)	12.4	23.9	12.4	29.2	12.4	7.9	1.8

②要介護認定調査実施件数：100件

3 介護予防支援事業(平成29年3月31日現在)

契約者数：86件 内居宅委託分73件 内訳：要支援1・29名 要支援2・57名

4 地域包括支援センター

①相談・訪問実績 相談件数：879件 訪問実績：198件

②相談内容内訳

内容	相談	訪問
介護保険	549	153
介護予防	12	5
行政サービス	10	4
インフォーマルサービス	33	7
認知症	58	14
介護・医療(認知症以外)	46	16
施設入所・入院	66	6

③援助内容内訳

内容	相談	訪問
安否確認・状況把握	690	193
介護・保健等指導助言	26	32
介護保険・行政サービス申請受付	57	63
他機関との調整	287	77
情報提供(サービス・施設紹介等)	542	162
傾聴	26	0

日常生活課題	126	63
苦情	3	0
成年後見制度・消費者保護	8	2
虐待	24	2
ケアマネ相談支援	54	3

④介護予防ケアマネジメント業務(平成29年3月31日現在)

契約者数：113件 内居宅委託分96件 内訳：要支援1・52名 要支援2・61名

⑤自主事業(包括的・継続的ケア事業)

事業名	実施回数・参加者	目的および内容
ケアマネ情報交換会 (新栄CP共催)	4回実施 参加者総数149名	目的：①情報交換②ネットワークの構築 内容：通常業務に必要な情報提供。意見交換会
ケアマネサロン	12回実施 参加者総数37名	目的：①情報交換②ネットワークの構築 内容：勉強会含むサロンの開催
エリア連絡会 +介護ボランティア講座	2回実施 参加者総数60名	目的：①情報交換②ネットワークの構築 内容：通常業務に必要な情報提供。意見交換会

⑥自主事業(権利擁護事業)

事業名(自主事業)	実施回数・参加者	目的および内容
介護者のつどい 「ほっと茶屋」	12回実施 参加者総数63名	目的：①介護者の仲間づくり②ストレス解消 内容：茶話会、介護に関するミニ講座

⑦介護予防普及強化事業

事業名(自主事業)	実施回数・参加者	内容
転ばぬ先の塾	2コース実施 参加者総数74名	目的：介護予防普及強化 内容：①ウォーキングアート②3A

⑧地域ケア会議 個別ケース1回(21名参加) 包括レベル1回(22名参加)

5 地域活動交流事業

①子育て・障害等相談件数 子育て関係7件 障害関係1件 その他44件

②高齢者支援・認知症予防事業

事業名	実施回数・参加者	内容
ゆうゆう東山田	11回実施 参加者総数494名	目的：認知症予防、引きこもり防止 内容：ミニデイサービスの実施
ふきのとう	11回実施 参加者総数713名	目的：。認知症予防、引きこもり防止 内容：会食会の実施
ケアプラ談話室	11回実施 参加者総数126名	目的：認知症予防、引きこもり防止 内容：茶話会の実施

③子育て支援

事業名	実施回数・参加者	内容
ぞうさんくらぶ	11回実施 参加者総数410名	目的：未就園児と養育者の仲間づくりと情報提供 内容：サロンの実施。
あそびのおもちゃランド	12回実施 参加者総数582名	目的：未就園児と養育者の仲間づくりと情報提供 内容：ミニイベント、サロンの実施。
親子体操 ころころぱんだ	11回実施 参加者総数476名	目的：親子の遊び、仲間作り 内容：インストラクターによる体操教室

④障害児者支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
アフリカンダンスくらぶ	12回実施 参加者総数123名	目的：発達障害の子どもと養育者の交流。 内容：インストラクターによるアフリカン教室
1 番素敵なアートを見つ けよう	3回実施 参加者総数32名	目的：発達障害の子どもと養育者の交流。 内容：美術教師によるアート講座

⑤地域支援・ボランティア活動支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
東山田連合町内会 納涼盆踊	8月5.6日	目的：ケアプラザの周知、地域連携。 内容：駄菓子、お面販売
子どもも大人もボランテ ィア体験	5回実施 参加者総数12名	目的：ボランティア活動の普及啓発 内容：ボラTEAM講座、ボラ団体の活動参加、デイベ スへの参加
北山田駅前広場 スマイルコレクション	1回実施 参加者総数400名	目的：施設間連携。子育てを地域で見守る土壌つ くり 内容：Tシャツを作り駅前でファッションショー
ケアプラザギャラリー	常設 (毎月更新)	目的：地域活動の紹介とつながり作り 内容：地域で活動する個人やサカノ作品展示。

⑥広報活動

- ・ 広報紙「けあぷら通信」 1回約2,250部発行〈4回〉 情報提供
- 「事業案内」 1回約2,250部発行〈12回〉 事業案内
- ・ ホームページ 事業に関する情報提供（随時更新）

6 運営協議会

第1回(平成28年7月8日) 平成28年度事業計画等

第2回(平成29年2月14日) 平成28年度事業報告、平成29年度事業展開

7 生活支援体制整備事業

地域で実施している事業に参加して地域包括支援センター、区役所・区社会福祉協議会と協働で課題抽出を行った。区内の生活支援コーディネーターで自主勉強会を開催した。

横浜市本牧和田地域ケアプラザ

通所介護事業の1日平均利用者数は24.5名にとどまり目標(25名)未達であった。居宅介護支援事業は介護支援専門員1名(兼務)が退職したため専従の介護支援専門員3名体制で実施した。地域包括支援センターは相談の多い独居、認知症高齢者問題について地域ケア会議を活用して関係機関や地域住民と課題を共有し、解決策を検討した。介護予防普及強化事業、地域活動交流事業は事業回数を増やした結果、介護予防に対する参加者意識が高まり効果が上がった。新規の生活支援体制整備事業はコーディネーターを配置し、担当エリア内の様々な地域活動や社会資源について実態調査と整理を行った。

1 通所介護事業・介護予防通所介護事業・横浜市通所介護相当サービス

①利用登録者：102名(平成29年3月31日現在) 男性33名 女性69名

介護度別内訳	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	1	4	11	16	36	18	7	9
比率(%)	1.0	3.9	10.8	15.7	35.3	17.6	6.9	8.8

②利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359
介護 延べ数	648	666	654	690	677	689	670	607	546	559	579	690	7,675
平均	21.6	21.5	21.8	22.3	21.8	23.0	21.6	20.2	19.5	20.0	20.7	22.3	21.3
予防 延べ数	84	104	92	99	98	99	100	87	87	89	96	92	1,127
平均	2.8	3.4	3.1	3.2	3.2	3.3	3.2	2.9	3.1	3.2	3.4	3.0	3.1
1日平均	24.4	24.8	24.9	25.5	25.0	26.3	24.8	23.1	22.6	23.1	24.1	25.2	24.5

③利用終了者：35名

理由	死亡	入院・入所	その他
人数(人)	10	12	11

2 居宅介護支援事業

①契約者数：110名(平成29年3月31日現在)

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	1	9	25	34	21	8	12
比率(%)	0.9	8.2	22.7	30.9	19.1	7.3	10.9

②要介護認定調査実施件数：100件

3 介護予防支援事業

①契約者数：42件(平成29年3月31日現在)

内訳：要支援1 7名 要支援2 35名

4 地域包括支援センター

①相談・訪問実績 相談件数：694件 訪問実績：269件

②相談内容内訳

内容	相談	訪問
介護保険	372	172
介護予防	23	9
行政サービス	4	4
インフォーマルサービス	32	6
認知症	104	43
介護・医療(認知症以外)	529	229
施設入所・入院	53	5
日常生活課題	2	5
苦情	2	4
成年後見制度・消費者保護	18	19
虐待	13	9
ケアマネ相談支援	189	78

③援助内容内訳

内容	相談	訪問
安否確認・状況把握	643	268
介護・保健等指導助言	402	202
介護保険・行政サービス申請受付	90	58
他機関との調整	370	215
情報提供(サービス・施設紹介等)	262	99
傾聴	88	1

④介護予防ケアマネジメント業務

契約者数：62件 内居宅委託分41件(平成29年3月31日現在)

内訳：要支援1 17名 要支援2 45名

⑤自主事業

事業名	実施回数	対象者	参加人数	共催・協力
認知症ホーター養成研修	6月9日 8月25日	一般住民 間門小学校	35名 52名	本牧原CP共催
認知症介護者の集い	3回	家族介護者 支援者	のべ9名	中区役所
安心生活講座	3回	一般住民	のべ40名	中区薬剤師会・神奈川県司法書士会・高齢者住み替え支援センター
新任ケアマネジャー実習	1コース5回	ケアマネジャー	12名	中区内6包括共催
主任ケアマネジャー交流会	2月21日	居宅介護事業所の主任ケアマネ	22名	中区内6包括共催
ケアマネサロン	2回	ケアマネジャー	17名	中区内6包括共催

⑥地域ケア会議

実施日	内容	参加人数	主な参加者
5月18日	地域での「集いの場」づくりに向けて	15人	ケアマネ・サービス事業者・民生委員
7月20日	大災害 その時私たちはどうする	22人	ケアマネ・サービス事業者・訪問看護・医師
9月8日	サービス拒否の独居認知症高齢者について	21人	ケアマネ・サービス事業者・訪問看護・医師
1月26日	サービス継続できない単身高齢者について	13人	ケアマネ・サービス事業者・民生委員・行政書士
3月24日	高齢者を孤立させないための場所づくり	33人	ケアマネ・サービス事業者・民生委員・住民

⑦介護予防普及強化事業(横浜市委託事業)

実施場所	実施回数	参加人数	内容
本牧元町南部町内会館	1回	30名	悪質リフォーム詐欺への注意と対策
根岸町自治会館	1回	17名	
本牧和田ケアプラザ	18回	1回の参加 平均11.2名	ロコモティブ・シンドローム予防 口腔衛生・栄養講座

5 地域活動交流事業

①高齢者支援

事業名	実施回数	参加人数	内容
楽笑サロン 「さつき会」	週1回 (全47回)	1回の参加 平均18.1名	一般高齢者等を対象とした、介護予防のための体操とレクリエーション活動。
認知症予防 学習交流 サロン「なごみ」	週1回 (全48回)	1回の参加 平均8.1名	従来の簡易計算や音読の他、臨床美術療法を取り入れた認知症予防教室。

②子育て支援

事業名	実施回数	参加人数	内容
子育てサロン	12回	1回の参加 平均6.1組	子育て中(未就園児)の母親同士の交流や子育てに関する情報提供。
目指せ!イクメンの星	5回	1回の参加 平均3.2組	子育て中の父親と子どもと一緒に体を動かす遊びを通じて、父親同士の交流を図る。
子育てママの健康応援 事業	2回	1回の参加 平均27.5人	中区役所との共催で、若い母親向けに骨密度測定と骨粗鬆予防の方法の説明等を実施した。

③障害児者支援

事業名	実施日	参加人数	内容
余暇活動支援事業 「ホップ ステップ 夏休み」	8月24日	児童4名 ボランティア2名	22日実施予定だったが、台風のため延期して24日午前中のみ実施した。
就労移行支援 職場実習事業	4/4～15 10日間	1名	ワークアシスト・日吉就労支援センター利用者の職場実習を受け入れした。

④ボランティア育成・地域参加支援

事業名	実施回数	参加人数	内容
男性料理教室	3回	1回の参加 平均8人	調理実習を通じてシニア世代男性の地域活動参加へのきっかけ作り。
ボランティア交流展	通年	のべ43人	ボランティア自身が活動内容の紹介や活動の感想をメッセージカードに書き館内に掲示。
ボランティア入門講座	1回 7月2日	18名	障害についての理解を深め、夏休みの余暇支援等で活動。中区6CP共催事業。

⑤支え合い活動支援

事業名	内容
世代間交流会	10月26日本牧中学校生徒(20名)と老人会合唱サークルと自主事業参加者(16名)がレクリエーションで交流。八聖殿郷土資料館協力。
ふれあい収集活動	地域の単身高齢者等を対象とし、本牧中学校ボランティアクラブの協力により高齢者世帯の古紙回収の支援活動を実施。
エコキャップ収集	発展途上国の子どもへワクチンを寄贈するためのペットボトルのキャップ回収。

⑥その他

事業名	内容
地域団体の活動支援 (5カ所)	地区社協や町内会が行う食事会や茶話会、体操会等の活動支援。ケアプラザからの情報提供の他、個別相談の機会として活用。
福祉教育支援	近隣小中学校の福祉体験学習等の企画、実施。 小学校(個別支援級含) 2校(2回) 中学校 3校(4回)
県立高校「キャリア教育実践プログラム」支援	インターンシップによる実習受入 1校3日間 1名
広報紙「ぼんぼこだより」の発行	ケアプラザからの情報提供だけではなく、地区社協等の地域活動を掲載。 1回1,600部(年4回)

6 生活支援体制整備事業

町内会館、地区センター、コミュニティハウス等で行われている「介護予防」「生活支援」に関する活動のヒアリング調査をした。中区内ケアプラザおよび区社協の生活支援コーディネーターによる情報交換会(月1回)を行い、区内の情報が共有ができるシートを作成した。3月に地域ケア会議と合同で、高齢者を孤立させないための住民主体の場所づくりについてケアマネ、サービス事業者、民生委員、地域住民を交えて協議した。

7 運営協議会

第1回 平成28年6月1日 平成27年度事業報告

第2回 平成29年3月8日 平成29年度事業計画

高齢福祉事業部・苦情解決事業 なし